アイデアバンク提案書（２４－２）

提案の名称	英語de「ＯＫＡＩＭＯＮＯ」
テーマ	□ 観光・史跡　□ 農畜産物　□ 文化・スポーツ　■ 教育 □ 子育て・福祉　□ 環境　□ ＰＲ　□ 防災 □ その他（　　）
エ リ ア	□ 観光地等　■ 遊戯施設等　□ 駅周辺　■ 直売所・公園 □ 公的施設　□ その他（　　）
提案の対象・意図	対象（市内外の子育て世代、小中学生、教育関係者　　） 意図（英語の実践の場として、英語でのコミュニケーション力の養成）
提案の背景	身近に英語を話す人が少ないと、学校でせっかく英語を学んでも、実際に英語でコミュニケーションをとる機会が得難く、英会話スキルの向上に繋がりにくい。
提案の概要	日本語ＮＧ、英語会話のみで駄菓子を買う体験型イベントの実施
提案の具体的内容	参加者（小中学生）が英会話のみ（日本語ＮＧ）でコミュニケーションを図り、駄菓子を買う体験イベントを、子供たちがよく集まる施設等で実施する。 イベントブース内は、ＰＯＰもコミュニケーションも全て英語で対応。テーマごとの英会話ブース（日常会話、自己紹介等）を設置し、英語でのコミュニケーションを図る。英会話で駄菓子を買うという成功体験をすることで英語によるコミュニケーションのコンプレックスをなくし、学習意欲の向上と国際社会で活躍できる人材の育成につなげる。 簡単なレクチャーブースを設置し、英語でのコミュニケーションのためのサポートも行う。合わせて大人向けのEnglish Cafeも設置し、親子で楽しめるイベントとする。スタッフは市内外の学生や留学生、ネイティブの方等を巻き込むことで、関係人口の創出にもつながる。
事業効果	教育関連のイベントとして話題性もあり、メディア等への露出による教育施策のＰＲにつながる。子育て世代をターゲットとした体験型イベントはニーズも高く、市民満足度及び市の認知度の向上につながる。
特記事項	関連企業や事業者とのコラボにより、さらに高い事業効果が期待できる。